

質問事項に対する回答書

(件名)日本海東北自動車道 中島高架橋耐震補強工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	4月13日	金抜設計書	P.12		本工事において、経費率計上時の工種区分は橋梁下部、適用区分は修繕でよろしいでしょうか？	土木工事積算基準(令和3年度版)第2編「6.関接工事費算定の適用工種区分」に基づき、判断願います。
2	4月13日	特記仕様書	P20	22-2-1	構造物掘削(特殊部)で土留め方式は鋼矢板となっていますが、鋼矢板の打込みはパイプロハンマ工あるいは油圧圧入工でしょうか？また、引抜きについてもご教示おねがいします。	鋼矢板の施工は用地境界内での施工を考えておりますが、貴社の施工計画に基づき、判断してください。
3	4月13日	割掛対象表参考内訳書	P2		構造物掘削(特殊部)の施工において、掘削箇所を締切する鋼矢板の残置日数をご教授おねがいします。	貴社の施工計画に基づいて、必要日数を算出してください。
4	4月13日	金抜設計書	P6、P7	54特(3) 54特(5)	アラミド繊維巻立て下地処理工、表面仕上工の数量は679m2ではなく、769m2ではないでしょうか。	設計図(10/56)(14/56)(18/56)(22/56)に記載のとおり、栗山橋P1橋脚及びP2橋脚ではアラミド繊維巻立て工を2層施工する箇所がありますので、アラミド繊維巻立て下地処理工及び表面仕上工の数量は679m2となります。
5	4月13日	参考図	11~15/41		中間貫通鋼材工において、構造物掘削の底面幅が狭くてPC鋼棒の挿入が困難ではないかと考えますが、どのようにお考えでしょうかご教示おねがいします。	PC鋼棒の建込に必要な掘削範囲の拡張は、項目「特-(6) 中間貫通鋼材工」に含めて計上しています。
6	4月13日	金抜設計書	P7		中間貫通鋼材工(見積対象外)において、鋼材(溝型鋼)、プレート、ナット、ワッシャ等の取付け手間の部掛かりをご教示おねがいします。	鋼材(溝型鋼)・プレート・ナット・ワッシャ等の取付け手間の費用については、土木工事積算基準(令和3年度版)の第32編12-4「PC鋼棒碇着工」に含まれます。